

令和元年度前学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 講義・演習科目

質問・回答（特に記載がない場合は5:強くそう思う,4:そう思う,3:どちらとも言えない,2:そう思わない,1:全くそう思わない） ◇受講した授業科目に関して、質問1～9は授業全体及び教員について、質問10～17は自分自身についての評価項目となります。	前学期前半科目					前学期後半科目					前学期科目					サマーセッション科目				
	専門		一般			専門		一般			専門		一般			専門		一般		
	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基
Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	4.0	—	4.3	—	4.0	4.2	—	4.3	—	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2	4.0	—	—	—	—	—
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	4.1	—	4.0	—	4.0	4.2	—	4.4	—	4.2	4.1	4.3	4.3	4.1	4.1	—	—	—	—	—
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	3.9	—	4.4	—	4.0	4.0	—	4.3	—	4.2	4.1	4.2	4.3	4.2	4.1	—	—	—	—	—
Q4 授業は学生の反応や理解度を考慮しながら行われましたか。	3.6	—	4.1	—	3.8	4.2	—	4.0	—	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	3.9	—	—	—	—	—
Q5 授業は静粛に運ぶよう配慮していましたか。	4.0	—	4.3	—	4.0	4.2	—	4.2	—	4.2	4.0	4.2	4.3	4.1	4.1	—	—	—	—	—
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	3.9	—	4.3	—	4.0	4.2	—	4.1	—	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.0	—	—	—	—	—
Q7 板書やプロジェクタの使い方は、適切でしたか。	3.8	—	4.4	—	3.8	4.2	—	4.3	—	3.9	4.0	4.1	4.0	4.0	3.9	—	—	—	—	—
Q8 授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか。	3.8	—	4.0	—	3.8	4.1	—	3.8	—	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9	—	—	—	—	—
Q9 課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	3.9	—	3.6	—	3.9	4.1	—	3.9	—	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9	4.1	—	—	—	—	—
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	3.9	—	4.5	—	3.8	4.1	—	3.9	—	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1	3.9	—	—	—	—	—
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	4.1	—	4.0	—	4.0	4.3	—	4.0	—	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	—	—	—	—	—
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	3.8	—	4.3	—	3.5	4.1	—	3.6	—	3.7	3.8	4.0	3.9	3.9	3.8	—	—	—	—	—
Q13 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5:3時間以上,4:2～3時間,3:1～2時間,2:1時間未満,1:取り組んでいない	2.9	—	1.8	—	2.7	2.8	—	2.5	—	2.7	2.4	2.3	2.2	2.2	2.5	—	—	—	—	—
Q14 現時点での授業への出席率はどのくらいですか。 回答 4:90%以上,3:70～89%,2:30～69%,1:30%未満	3.8	—	3.4	—	3.8	3.8	—	3.8	—	3.7	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7	—	—	—	—	—
Q15 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5:文献資料を閲覧・借りた,4:予習・復習をした,3:レファレンスサービスを利用した, 2:相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した,1:全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか。	3.2	—	3.0	—	2.6	3.2	—	2.6	—	2.7	2.9	3.0	2.9	2.9	3.1	—	—	—	—	—
Q17 この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか。	4.1	—	3.0	—	3.5	3.9	—	3.4	—	3.3	3.5	3.3	3.3	3.1	3.5	—	—	—	—	—

II 実験・実習科目

Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.4	—	—	4.1	4.2	—	—	4.3	—	—	—	—	—
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	—	4.5	—	—	—	—	4.6	—	—	4.2	4.2	—	—	4.5	—	—	—	—	—
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	—	—	4.3	—	—	—	—	4.5	—	—	4.2	4.1	—	—	4.4	—	—	—	—	—
Q4 提出物（課題、レポートなど）の書き方やまとめ方の指導は適切でしたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.3	—	—	4.1	4.2	—	—	4.3	—	—	—	—	—
Q5 授業は静粛に運ぶよう配慮していましたか。	—	—	4.1	—	—	—	—	4.2	—	—	4.0	4.1	—	—	4.2	—	—	—	—	—
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.4	—	—	4.0	4.1	—	—	4.2	—	—	—	—	—
Q7 安全や衛生に関する適切な指導と配慮をしていましたか。	—	—	4.5	—	—	—	—	4.5	—	—	4.1	4.2	—	—	4.3	—	—	—	—	—
Q8 授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか。	—	—	4.0	—	—	—	—	4.3	—	—	4.0	4.1	—	—	4.2	—	—	—	—	—
Q9 課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.0	—	—	4.0	4.0	—	—	4.1	—	—	—	—	—
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	—	4.1	—	—	—	—	4.2	—	—	4.0	4.2	—	—	4.0	—	—	—	—	—
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	—	—	4.1	—	—	—	—	4.3	—	—	4.3	4.1	—	—	4.1	—	—	—	—	—
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	—	3.7	—	—	—	—	4.1	—	—	3.7	4.0	—	—	3.9	—	—	—	—	—
Q13 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5:3時間以上,4:2～3時間,3:1～2時間,2:1時間未満,1:取り組んでいない	—	—	4.0	—	—	—	—	3.8	—	—	4.0	3.5	—	—	3.8	—	—	—	—	—
Q14 現時点での授業への出席率はどのくらいですか。 回答 4:90%以上,3:70～89%,2:30～69%,1:30%未満	—	—	3.8	—	—	—	—	3.9	—	—	3.9	3.8	—	—	3.9	—	—	—	—	—
Q15 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5:文献資料を閲覧・借りた,4:予習・復習をした,3:レファレンスサービスを利用した, 2:相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した,1:全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか。	—	—	3.4	—	—	—	—	3.7	—	—	3.4	3.5	—	—	3.2	—	—	—	—	—
Q17 この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.0	—	—	3.8	3.8	—	—	3.8	—	—	—	—	—

※1 表の数字は学生が評価した各選択肢の平均値。ただし、Q15(2か所・斜線表記部)については、質問の性格上(図書館の利用状況についてのため)、平均化の処理をしていません。

※2 「I 講義・演習科目」と「II 実験・実習科目」では質問内容が一部異なります。

※3 「—」の表記は、該当科目がないことを意味します。

※4 各履修期及び授業区分において、延べ回答者数が5名未満の場合は、集計結果を公表していません。

令和元年度前学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果の分析・コメント

1 建築・生活デザイン学科

全体的に4点以上の項目が多く、授業に対する満足度は概ね良好である。特に実験・実習科目に対する満足度が高い傾向にある。Q13の学生の授業時間外での学修についてみると、実験・実習科目は課題・レポート等に時間をかけて取り組んでいるが、講義・演習科目の学修時間が不十分であることがうかがえる。Q8の授業時間外の学修方法の指示が4点未満であることから、講義・演習科目における授業時間外学修の具体的内容や方法の指示について改善が必要である。

その他、学生の反応や理解度を考慮した授業(Q4)、課題に対する学生へのフィードバック(Q9)に関して4点未満となっており、今後これらの項目を改善し、学生の授業理解度を向上させる取り組みを継続していく必要がある。

3 生命・物質化学科

今年度も内容についての設問への回答はすべて4点前後で、今までどおりほぼ問題はないであろう。従来からの課題であった講義・演習科目での時間外学習(Q13)は、発展的な課題を課すなどして向上をはかったが、昨年度とほぼ同じ2.2点で改善はあまりなかった。これは課題を出すだけでなく、講義に対する意識も高める必要があると思われる、特に予習をすることが授業内容の理解を高めてよい成績に結びつくことをアピールしていきたい。

実験・実習科目では時間外学習の回答が4.0点と3.8点であり、わずかではあるがさらに向上している。これは化学実験は十分に理解した上で行わないと安全上の問題があるので、予習ノート作成を課しているからだと思われ、今後も継続したい。

2 ものづくり・サイエンス総合学科

Q1～Q12の評価項目について、学生からの評価も学期ごとに上がっており、教員の授業改善についての取組は、一定の評価を得られている。

しかしながら、授業時間外での学修時間(Q13)については、特に講義科目では少ない傾向にある。あわせて、教員への質問(Q16)や学生間での学修(Q17)に関する評価も低い傾向にあり、意欲的な学習態度が見られない学生が少なからずいると考えられる。

これらの状況を改善するため、授業時間外での学修を学生に促すべく、特に講義科目において、宿題など適切な課題を設定するよう、担当教員に働き掛けていく。

4 短大一般教育

講義・演習科目、実験・実習科目ともに評価は概ね4点以上であり、個別項目についても高評価である。授業の難易度の適切さの項目については、一層の改善が必要である。授業時間外の学修については前回より改善しているが、引き続き学生の主体的な学びを向上させる取り組みの充実が求められる。